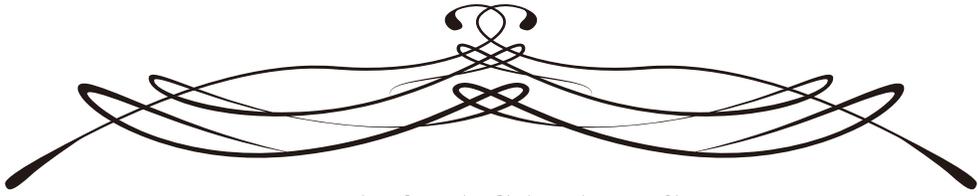




THE
MESSIAH
G.F.HANDEL

第36回クリスマスコンサート・メサイア

学校法人広島女学院



MAJORA CANAMUS

いざ、大いなることを歌おう。

And without controversy great is the mystery of Godliness: God was manifest in the Flesh, justified in the Spirit, seen of Angels, preached among the Gentiles, believed on in the World, received up into Glory.

(1 Timothy 3:16)

信心の秘められた真理は確かに偉大です。すなわち、キリストは肉において現われ、霊において義とされ、天使達に見られ、異邦人の間で宣べ伝えられ、世界中で信じられ、栄光のうちに上げられた。

(新約聖書 テモテへの手紙 I 3章16節)

In whom are hid all the Treasures of Wisdom and Knowledge.

(Colossians 2:3)

知恵と知識の宝はすべて、キリストの内に隠れています。

(新約聖書 コロサイの信徒への手紙 2章3節)

※ロンドン初演 (1743年) の際、「メサイア」の歌詞冊子の表紙に記されていた聖書のことば



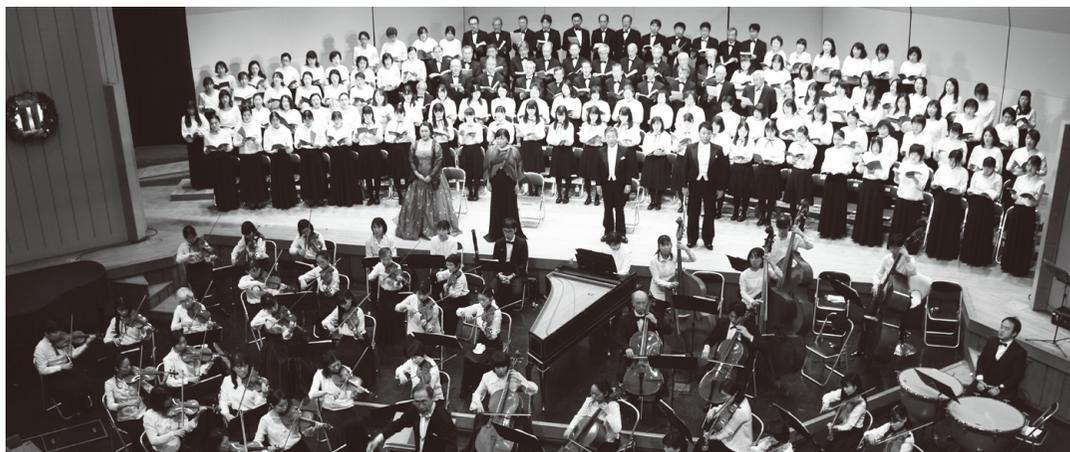
広島女学院 第36回 クリスマスコンサート

THE MESSIAH G. F. Handel

日時：2022年12月18日 (日) 16:30開場 17:00開演

場所：広島女学院ゲーンホール

主催：学校法人 広島女学院



2019年12月 第35回 メサイア コンサート

第36回メサイア上演ご挨拶



学校法人広島女学院 院長 三谷 高康
 広島女学院大学 学長

「慰めよ、私の民を慰めよ。
 苦役の時は今や満ち、イスラエルの民の咎は償われ
 罪のすべてに倍する報いを、
 主の御手から受けた、と」 (イザヤ書40章1～2節)

ヘンデルの『メサイア』の冒頭の一節です。

予言者イザヤは差別と抑圧、そして貧困に苦しむ民衆に、彼らを救う真実の救い主(メサイア)の到来を約束しました。この知らせに人々は励まされ、待ち続けました。

それからどれほどの時が経過したでしょうか。21世紀に生きる私たちもまた、同様の慰めを求めて生きています。地球規模のコロナ感染によって多くの人が命を失いました。今も、感染に苦しみ、喘いでいる人々が後を絶ちません。

ロシアのウクライナ侵攻により戦争への不安が世界を覆っています。大勢の若者が将来への不安を抱きながら、苦難の日々を送っています。

そのような時に、東の空に希望の星が光り、救い主の誕生を待ちわびる季節がめぐってきました。

待降節(アドヴェント)の到来です。

イエス・キリストの生涯の出来事から、最後の審判に至る壮大なドラマは、悲しい現実を、根本から変える神の偉大さ、深い愛を伝えています。

今宵、私たちはヘンデルの調べに心を留め、喜びと希望を決して失わない人生を歩みたく願うものです。

3年ぶりに伝統ある広島女学院のメサイア演奏を皆様にお届けできるこの機会を神に感謝しつつ、しっかりと感染防止をとっておりますので、どうか最後までご安心して鑑賞くだされば幸いです。

皆様方の上に、素晴らしいクリスマスの訪れを祈りつつ、ご挨拶いたします。

2022年12月18日



G.F.HANDEL MESSIAH

I Part the first

1. Symphony
2. Comfort ye, comfort ye my people Tenore
3. Ev'ry Valley shall be exalted Tenore
4. And the glory, the glory of the Lord Chorus
5. Thus saith the Lord, the Lord of Hosts Basso
6. But who may abide the day of His coming Alto
9. For behold, darkness shall over the earth Basso
11. For unto us a Child is born Chorus
12. Pifa
- 〈Recitative〉 There were shepherds abiding in the field Soprano
13. And lo, the angel of the Lord came upon them Soprano
- 〈Recitative〉 And the angel said unto them Soprano
14. And suddenly there was with the angel Soprano
15. Glory to God in the highest Chorus
16. Rejoice greatly, O daughter of Sion Soprano
- 〈Recitative〉 Then shall the eyes of the blind be open'd Alto
17. He shall feed His flock like a shepherd Alto & Soprano
18. His yoke is easy, His burthen is light Chorus

~ Intermission ~

II Part the second

19. Behold the Lamb of God Chorus
20. He was despised Alto
21. Surely, He hath borne our griefs and carried our sorrows Chorus
26. Thy rebuke hath broken His heart Tenore
27. Behold, and see if there be any sorrow Tenore
36. Why do the nations so furiously rage together Basso
37. Let us break their bonds asunder Chorus
- 〈Recitative〉 He that dwelleth in heaven Tenore
38. Thou shalt break them with a rod of iron Tenore
39. Hallelujah Chorus

III Part the third

40. I know that my Redeemer liveth	Soprano
41. Since by man came death	Chorus
42. Behold, I tell you a mystery	Basso
43. The trumpet shall sound and the dead shall be rais'd	Basso
47. Worthy is the Lamb that was slain	Chorus
Amen.	Chorus

「番号は原曲番号」

※Some of the original pieces have been omitted.

メサイアについて

G.F.ヘンデル(1685~1759)はドイツに生まれ、イタリアで音楽を学び、イギリスに渡り、オペラ作曲家として大きな成功を収めました。しかし40歳台後半にオペラ興業が不調に陥り多額の負債を抱えて倒産してしまいます。そして1737年の52歳のときに卒中の発作を起こし体調を崩して演奏活動からの引退を余儀なくされました。その後体調は回復し、55歳の頃からはオラトリオの作曲(「サウル」「エジプトのイスラエル人」)に専念しますが興行は振るわず、56歳のヘンデルは次のヴィジョンを持つことが出来ませんでした。その時、数年来の友人チャールズ・ジェネズは新しい台本を作って彼に示し、彼が作曲に対してのインスピレーションを得て、これまでの作品を凌駕する作品が誕生することを期待しました。そこで彼が題材に選んだのが、聖書の最も中心的な主題である「メサイア=イエス・キリスト」だったのです。1741年8月22日、ヘンデルは作曲に着手し9月14日には完成。特別な集中力の中で、この長大な作品をわずか24日間で仕上げたのでした。(第20曲アルトアリア「この方は侮られて」では、楽想に感動し涙を流しながら書いているところを召使が目にしたと言われています。)

初演は翌年の1742年4月13日、「病院の支援・囚人の慰安のための慈善演奏会」としてダブリンで行われ大好評を博します。その後1750年からは捨子養育院において、続いてコベントガーデンで毎年演奏され、この作品への評価は確立していきました。

「オラトリオ・メサイア」はI.[預言とメシアの出現]II.[メシアの受難と復活・福音の拡がり]III.[復活・永世と賛美]の3部構成・全53曲からなり、テキストは全て聖書からのみ取られています。興味深いことにジェネズのテキストは救い主イエスをテーマとしながら、福音書などのイエスに関する直接的な記述は最小限にとどめ、預言書や書簡などの聖書箇所から、その本質や意味に迫る言葉を選んでおり、救い主の出現が旧約時代の預言の成就であることを示しています。

広島女学院は砂本貞吉牧師によって創立され、ナニ・B・ゲーンズ先生に受け継がれて以来136年間、聖書を土台とするキリスト教精神のもとで教育活動を行ってきました。メサイアの演奏会はこの間、学院の建学の精神を音楽によって表す行事として様々な形で受け継がれてきました。現在、本学院ではこの演奏会をキリストの降誕の時期に合わせて、クリスマスコンサートとして行っており、第I部[預言と救い主の出現]、を中心とした抜粋でお送りしています。また、ヘンデルが初演以来この作品を慈善演奏会として公演してきたことに因み、本演奏会においても献金の全てを施設・諸団体に寄付させて頂いております。



Messiah
Georg Friedrich Händel
(BÄRENREITER URTEXT)

Part the first 第I部 預言とメシアの出現

救いを待ち望む民に救い主メシア出現の希望が示され、一人の子の誕生によってそれが実現する。その救い主は民を慈しみ、そのくびきを共に担い、安息を与える方として表される。
〈メサイア(英Messiah)は、ヘブライ語マシア(Masiah)、またはアラム語メシア(Mesiah)がギリシャ語化されてメシアス(Messias)となり、英語ではMessiahとなったもの。「油を注がれたもの」の意で、神の任命を受けた「救い主」という意味が与えられる。ギリシャ語音訳されたMessiasはギリシャ語に翻訳されて、救い主(Christos)になった。すなわち、メシア=メサイア=キリストはすべて「救い主」を意味し、ここではイエス・キリストを指す。〉

1. *Symphony* 序曲

2. *Comfort ye, comfort ye my people*

Tenore

〈テノール独唱〉

慰めよ、わたしの民を慰めよと あなたたちの神は言われる。

エルサレムの心に語りかけ 彼女に呼びかけよ 苦役の時は今や満ち、彼女の咎は償われた、と。

呼びかける声がある。主のために、荒れ野に道を備え わたしたちの神のために、荒れ地に広い道を通せ。

イザヤ書 40:1-3

3. *Ev'ry Valley shall be exalted*

Tenore

〈テノール独唱〉 谷は全て身を起こし、山と丘は身を低くせよ。険しい道は平らに、狭い道は広い谷となれ。

イザヤ書 40:4

4. *And the glory, the glory of the Lord*

Chorus

〈合唱〉

主の栄光がこうして現れるのを 肉なるものは共に見る。主の口がこう宣言される。

イザヤ書 40:5

5. *Thus saith the Lord, the Lord of Hosts*

Basso

〈バス独唱〉

まことに万軍の主はこう言われる。わたしは、間もなくもう一度天と地を、海と陸地を揺り動かす。

ハガイ書 2:6

見よ、わたしは使者を送る。彼は我が前に道を備える。あなたたちが待望している主は突如、その聖所に来られる。あなたたちが喜びとしている契約の使者

見よ、彼が来る、と万軍の主は言われる。

マラキ書 3:1

6. *But who may abide the day of His coming*

Alto

〈アルト独唱〉

だが、彼の来る日に誰が身を支えうるか。彼の現れるとき、誰が耐えうるか。

彼は精錬する者の火、洗う者の灰汁のようだ。

マラキ書 3:2

9. *For behold, darkness shall over the earth*

Basso

〈バス独唱〉

見よ闇は地を覆い、暗黒が国々を包んでいる。しかしあなたの上には主が輝き出で、主の栄光があなたの上に現れる。国々はあなたを照らす光に向かい、王たちは射し出るその輝きに向かって歩む。

イザヤ書 60:2-3

11. *For unto us a Child is born*

Chorus

〈合唱〉

ひとりのみどりごが わたしたちのために生まれた。ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。権威が彼の肩にある。その名は、「驚くべき指導者、力ある神 永遠の父、平和の君」と唱えられる。 イザヤ書 9:5

12. *Pifa* (羊飼いの情景)

田園曲

Orchestra

〈Recitative〉 There were shepherds abiding in the field

Soprano

〈ソプラノレシタティーボ〉

13. その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの晩をしていた。

すると、主の天使が近づき、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。

天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。

今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそメシアである。 ルカ 2:8-11

14. すると、突然、この天使に天の大軍が加わり、神を賛美して言った。

ルカ 2:13

15. *Glory to God in the highest*

Chorus

〈合唱〉

いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人にあれ。 ルカ 2:14

16. *Rejoice greatly, O daughter of Sion*

Soprano

〈ソプラノ独唱〉

娘シオンよ、大いに踊れ。娘エルサレムよ、歓呼の声をあげよ。見よ、あなたの王が来る。

彼は神に従い、勝利を与えられた者 高ぶることなく、ロバに乗ってくる

雌ろばの子である ろばに乗って。 ゼカリヤ書 9:9

〈Recitative〉 Then shall the eyes of the blind be open'd

Alto

〈アルトレシタティーボ〉

そのとき、見えない人の目が開き 聞こえない人の耳が開く。

そのとき、歩けなかった人が鹿のように踊り上がる。口のきけなかった人が喜び歌う。

イザヤ書 35:5-6

17. *He shall feed His flock like a shepherd*

Alto & Soprano

〈二重唱ソプラノ・アルト〉

主は羊飼いとして群れを養い、御腕をもって集め 小羊をふところに抱き、その(小羊の)母をも導いて行かれる。 イザヤ書 40:11

疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。

わたしは柔和で謙遜な者だから、わたしの軛を負い、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる。 マタイ 11:28-29

18. *His yoke is easy, His burthen is light*

Chorus

〈合唱〉

わたしの軛は負いやすく、わたしの荷は軽いからである。 マタイ 11:30

～ Intermission 〈休憩〉 ～

Part the second 第Ⅱ部 メシアの受難と復活・福音の広がり

出現したメシアは民の罪と苦しみとを自分のものとして負い、それゆえ苦しみの中に十字架で死ぬ。しかし、死で終わることなくメシアは復活して栄光を表し、それによってもたらされた救いの福音(良い知らせ)は迫害を受けながらも世界に広がる。その神の国の到来をたたえて「ハレルヤ」の合唱が高らかに歌われる。

19. Behold the Lamb of God

Chorus

〈合唱〉

見よ、世の罪を取り除く神の小羊だ…

ヨハネ 1:29

20. He was despised

Alto

〈アルト独唱〉

彼は軽蔑され、人々に見捨てられ多くの痛みを負い、病を知っている。 イザヤ書 53:3

打とうとする者には背中をまかせ ひげを抜こうとする者には頬をまかせた。

顔を隠さずに、嘲りと唾を受けた。

イザヤ書 50:6

21. Surely, He hath borne our griefs and carried our sorrows

Chorus

〈合唱〉

彼が担ったのはわたしたちの病 彼が負ったのはわたしたちの痛みであったのに…

彼が刺し貫かれたのは わたしたちの背きのためであり 彼が打ち砕かれたのは わたしたちの咎のためであった。

彼の受けた懲らしめによって わたしたちに平和が与えられた。

イザヤ書 53:4-5

26. Thy rebuke hath broken His heart

Tenore

〈テノール独唱〉

嘲りに心を打ち砕かれ わたしは無力になりました。

望んでいた同情は得られず 慰めてくれる人も見いだせません。

詩編 69:21

27. Behold, and see if there be any sorrow

Tenore

〈テノール独唱〉目を留めよ、よく見よ。これほどの痛みがあったろうか。

わたしを責めるこの痛み 主がついに怒ってわたしを懲らすこの痛みほどの。哀歌 1:12

36. Why do the nations so furiously rage together

Basso

〈バス独唱〉

なにゆえ、国々は騒ぎ立ち、人々は声をあげるのか。

なにゆえ、地上の王は構え、支配者は結束して主に逆らい、

主の油注がれた方に逆らうのか。

詩編 2:1-2

37. Let us break their bonds asunder, and cast away their yokes from us.

〈合唱〉

「彼らの束縛を打ち砕き、彼らの軛を捨て去ろう」と。

詩編 2:3

〈Recitative〉 He that dwelleth in heaven

Tenore

〈テノールレシタティーボ〉 天を王座とする方は笑い 主は彼らを嘲り

詩編 2:4

38. Thou shalt break them with a rod of iron

お前は鉄の杖で彼らを打ち 陶工が器を砕くように砕く。

詩編 2:9

39. *Hallelujah*

Chorus

〈合唱〉

ハレルヤ、全能者であり、わたしたちの神である主が王とられた。

ヨハネの黙示録 19:60

この世の国は、我らの主と、そのメシアのものとなった。主は世々限りなく統治される。

ヨハネの黙示録 11:15

王の王、主の主

ヨハネの黙示録 19:16

Part the third 第三部 信ずる者の復活・永生と賛美

メシアによってもたらされた福音は信ずる者の内に、死を乗り越えた復活と永遠の希望をもたらす。こうして全編を通して表されたメシアを讃える壮大な終曲が合唱で歌われ、アーメンコーラスで全曲を閉じる。

40. *I know that my Redeemer liveth*

Soprano

〈ソプラノ独唱〉 わたしは知っている わたしを贖う方は生きておられ、ついには塵の上に立たれるであろう。この皮膚が損なわれようとも この身をもってわたしは神を仰ぎ見るであろう。

ヨブ記 19:25-26

しかし、実際、キリストは、死者の中から復活し、眠りについた人たちの初穂となりました。

コリント I 15:20

41. *Since by man came death*

Chorus

〈合唱〉 死が一人の人によって来たのだから、死者の復活も一人の人によって来るのです。つまり、アダムによってすべての人が死ぬことになったように、キリストによってすべての人が生かされることになるのです。

コリント I 15:21-22

42. *Behold, I tell you a mystery*

Basso

〈バス独唱〉 わたしはあなたがたに神秘を告げます。わたしたちは皆、眠りにつくわけではありません。わたしたちは皆、今とは異なる状態に変えられます。最後のラッパが鳴るとともに、たちまち、一瞬のうちにです。

コリント I 15:51-52

43. *The trumpet shall sound and the dead shall be rais'd*

Basso

〈バス独唱〉 ラッパが鳴ると、死者は復活して朽ちない者とされ、わたしたちは変えられます。この朽ちるべきものが朽ちないものを着、この死ぬべきものが死なないものを必ず着ることになります。

コリント I 15:52-53

47. *Worthy is the Lamb that was slain*

Chorus

〈合唱〉

屠られた小羊は、力、富、知恵、威力、誉れ、栄光、そして賛美を受けるにふさわしい方です。

ヨハネの黙示録 5:12

玉座に座っておられる方と小羊とに、賛美、誉れ、栄光、そして権力が、世々限りなくありますように。

ヨハネの黙示録 5:13

Amen (So be it!)

アーメン

Chorus

星野晴夫 (指揮)



エリザベト音楽大学宗教音楽学科、パイプオルガン専修卒業。ドイツ、ウェストファーレン州立教会音楽学校卒業。教会音楽家B資格を取得。オルガン奏法をロベルト・ヴリーゲン氏、フランス・ボーン氏、アーノ・シェーンステット氏に師事。教会を中心にオルガン演奏活動を行い、オラトリオ、ミサ曲、受難曲など教会音楽作品の通奏低音、オルガンを担当。広島女学院メサイア演奏会においても、オルガン・チェンバロにより通奏低音を担当してきた。広島女学院中学高等学校において音楽科教諭、管理職を勤めた。現在、広島女学院中高音楽科講師。日本オルガニスト教会会員。

乗松恵美 (ソプラノ)



東京藝術大学音楽学部声楽科ソプラノ専攻卒業。同大学大学院独唱科修了。京都市立芸術大学大学院音楽研究科博士後期課程修了、博士(音楽)号取得。博士論文「ヒロシマを題材とした声楽作品によるアウトリーチ活動」。マダム・バタフライ国際コンクールin長崎優勝。ひろしまフェニックス賞、広島文化賞新人賞受賞。2009年テグ市(韓国)国際オペラフェスティバルに招待歌手として出演。(財)地域創造公共ホール音楽活性化支援事業アーティスト。ソロリサイタルや文化庁子どものための芸術家派遣事業などでは、観客の目線に合わせたアウトリーチ演奏に定評があり、本格的でありながら親しみやすいクラシック音楽の普及につとめている。声楽を、木原朋子、瀬山詠子、朝倉蒼生、高丈二、ウーヴェ・ハイルマン、折江忠道の各氏に師事。モーツァルト《レクイエム》、ヘンデル《メサイア》、ベートーベン《第九》をはじめとする合唱曲のソリスト、オペラでは、ヴェルディ《椿姫》、ヴィオレッタ《アイダ》アイダ、プッチーニ《蝶々夫人》蝶々さん、モーツァルト《フィガロの結婚》伯爵夫人、J.シュトラウス《こうもり》ロザリンデ他、多数のオペラ作品に主たる役で出演。ソロアルバム「console`コンソロー」をリリース。日本演奏連盟、日本音楽学会、「ヒロシマと音楽」委員会会員。NHK文化センター、エリザベト音楽大学講師。ミリオンコンサート協会所属。藤原歌劇団正団員。

八川浩子 (アルト)



広島市出身。エリザベト音楽大学宗教音楽学科宗教声楽コース卒業。同大学大学院音楽研究科宗教音楽専攻修士課程修了。声楽を益田遥、故鈴木仁、藤井美雪、頃安利秀各氏に師事。在学中に、定期演奏会、チャリティクリスマスコンサート、卒業演奏会、修了演奏会に出演。ヘンデル『メサイア』、ハイドン『ネルソンミサ』、ベートーヴェン『第九』『荘厳ミサ』『ミサ曲ハ長調』、モーツァルト『レクイエム』等のアルトソロを務める。東京バロック合唱団、ドイツフライブルク大聖堂少年合唱団の演奏会にアルトソリストとして出演。また、CD「近代唱歌集成 聖歌の世界」(ビクターエンターテインメント)、「カルミナ・セクリ」、上田益作曲「4つの愛の歌」、神戸ルミナリエ2016会場音楽レコーディングメンバー。2019年「レクイエム・プロジェクトinポーランド〜平和への祈り〜」にソリストとして参加している。オペラでは、ひろしまオペラルネッサンス主催 プッチーニ『ジャンニ・スキッキ』ズイータ、ビゼー『カルメン』メルセデスで出演。現在、声楽アンサンブル「Voice=Spective」メンバー。その他、各地で演奏活動をしながら後進の指導にあたっている。宝塚市在住。

藤井雄介 (テノール)



大分県大分市出身。広島大学教育学部音楽科卒業後、東京藝術大学音楽学部声楽科を経て、同大学院修士課程および博士課程修了。ルネサンスから現代作品まで宗教曲・オラトリオ・オペラ・歌曲の各分野で活躍するとともに、童謡・唱歌やポピュラー分野での活動も行っている。これまでに、バッハ《マタイ受難曲》《ヨハネ受難曲》の福音史家およびテノールソロ、ヘンデル《メサイア》《エジプトのイスラエル人》、ハイドン《天地創造》《四季》、モーツァルト《レクイエム》《ハ短調ミサ》、ベートーヴェン《交響曲第9番》、メンデルスゾーン《エリヤ》《聖パウロ》、シューマン《薔薇の巡礼》、ドヴォルザーク《スターバト・マーテル》《レクイエム》、コダーイ《ミサ・プレヴィス》など、主に宗教的声楽作品のソリストを多数務めている。

日本フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、オーケストラ・アンサンブル・金沢等と共演。バッハ・コレギウム・ジャパン（鈴木雅明音楽監督）ではソリストおよび声楽メンバーとして国内外における多数公演・録音に参加している。2009年には新国立劇場コンサート・オペラ、モンテヴェルディ《ポッペアの戴冠》にルカーノ役等で出演。2015年にはアメリカ・フィラデルフィア・メンデルスゾーン・クラブによるバッハ《マタイ受難曲》（メンデルスゾーン編曲版）公演に福音史家として出演した。現在、広島文化学園大学准教授。

平田昌久 (バリトン)



エリザベト音楽大学宗教音楽学科宗教声楽コース卒業。同大学院修了。在学中定期演奏会やクリスマスコンサートのソリストを務め卒業演奏会・修了新人演奏会に出演。第9回都留音楽祭オープニングコンサートに出演。東京カテドラル聖マリア大聖堂にてモンテヴェルディ「聖母マリアの夕べの祈り」「倫理的宗教的な森」のソリストとして、またバリのマドレーヌ寺院にてフォーレ「レクイエム」のバリトンソロを、シュッツやバッハの「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」ではイエスを務める。その他ヘンデルの「メサイア」やモーツァルトの「レクイエム」、バッハのカンタータバスソロ等、各地で独唱者として活動している。声楽を鈴木仁、宇田川貞夫各氏に師事。広島山陽学園山陽高等学校主幹教諭、山陽太鼓「弾」顧問、PTAスマイルコーラス、山陽声楽アンサンブルグループ指揮者。

星野いずみ (コンサートミストレス)



広島女学院中学高等学校卒業。愛知県立芸術大学音楽学部弦楽器コース卒業。同大学大学院博士前期課程修了。在学中、宗次ホールにて「室内楽の夕べ」に出演。京都・国際音楽学生フェスティバルに参加。アジア・ユースオーケストラのメンバーとしてアジアツアーに参加。愛知県一宮市による新進芸術家サポートプログラムの支援を受け、弦楽四重奏団として活動。

アメリカ、マサチューセッツ州ボストン音楽院にてディプロマを取得。ボストン音楽院管弦楽団コンサートミストレスをつとめる。マサチューセッツ大学アマースト校にて大学院弦楽四重奏演奏員、同大学管弦楽団コンサートミストレスをつとめる。

イリノイ州シカゴにて、シビックオーケストラ・オブ・シカゴのヴァイオリン奏者をつとめ、同オーケストラのメンターであるリッカルド・ムーティ、ヨーヨー・マ、シカゴ交響楽団から学び共演すると共に、シカゴ地域の学校、フードバンク等での演奏や児童参加型コンサート等にも携わった。

広島市在住。これまでにヴァイオリンを藤井リコ、瀬川光子、白石禮子、マーカス・ブラッチの各氏に師事。

玉 理 照 子 (オルガン)



広島女学院中・高校卒業。エリザベト音楽大学パイプオルガンコース卒業。オルガンを山崎陽子、吉田實の各氏に師事。1989年教会オルガニスト2級認定試験(現在最高位)に合格。ニューヨークにおけるWCC教会音楽講習会、ザルツブルグオルガン講習会、プラニアフスキーオルガン音楽作曲講習会参加。教団主催キリスト教音楽講習会(東京)及び関西キリスト教音楽講習会、東北地区教会音楽講習会他、各地オルガニスト講習会、賛美歌講習会、教会聖歌隊講習会講師を担当する。自作曲として「讃21-401後奏曲」「讃21-235変奏曲」「こどもさんびか合唱曲集—ともに育つ」、最新の自作曲はオルガンのための「それ行けカープによるメディテーション」(2017年)。「讃21合唱曲集8」(教団出版局)。2006年CD「パイプオルガンの世界」をリリース。2009年「讃美歌21やさしい伴奏集」(教団出版局)、2017年「こどもさんびか改訂版・讃美歌21奏楽曲集」(教団出版局)出版。広島流川教会音楽主事。広島女学院大学オルガニスト。同大学聖歌隊指導者。日本基督教団讃美歌委員会委員。

福 原 之 織 (チェンバロ)



広島女学院中学・高等学校卒業。エリザベト音楽大学宗教音楽学科パイプオルガンコース卒業。同大学専攻科修了後、ウィーン国立音楽大学に留学。オーストリア各地で演奏会を行う。1992年オルガン演奏第1ディプロムを審査員満場一致の最優秀で取得。帰国後エリザベト音楽大学大学院にて修士課程修了。パイプオルガンを廣澤嗣人、山崎陽子、R.ショルツ諸氏に、ピアノを益田遥、チェンバロを光井安子、通奏低音をI.ライナー諸氏に師事。また、バロックアンサンブルを宇田川貞夫氏に学ぶ。

学校法人鶴学園広島なぎさ中学校・高等学校(旧:広島工業大学附属中学校・広島高等学校)音楽科教諭を経て、2003年同学園に開校したなぎさ公園小学校の副校長に就任。翌年から校長を2010年度末まで務める。学校法人鶴学園初等中等教育研究センター長を一年間務め、2012年4月よりエリザベト音楽大学音楽文化学科教授(音楽科教育法・オルガン)。現在、学部長を務める。オルガン、チェンバロ奏者、通奏低音奏者として活動を行っている。日本キリスト教団広島流川教会音楽主事(オルガニスト)。日本オルガニスト協会会員。日本賛美歌学会会員。

広島女学院メサイア合唱団

広島女学院高等学校音楽部並びにOG
 広島女学院大学クワイヤ並びにOG
 広島女学院保護者
 広島女学院教員
 有志の皆様

〈ソプラノ〉

(一般)

有田 和子	有馬 規子	岩佐 実桜	畝本 実穂	大西風生花	大森 結衣
岡崎 博美	小野さつき	勝部由起子	須川 桃花	鈴木未央子	高橋 孝子
高見 知伸	竹本 葉子	田中 彩	谷増 咲紀	徳光 祥子	中村 紀子
野上沙也花	長谷川 史	旗手 詩織	濱田 万季	湊 優希	三宅 舞子
森川 裕美	吉田絵理子				

(大学クワイヤ)

阿部 菜摘	折本 鞠香	工藤 雪乃	花森 瑠奈	丸林 真緒
HUAI LI (フェイリー)		Kelsey Joy Wurster (留学生)		

(高校音楽部)

堀永 瑞希	隼田 彩希	藤崎 光央	今池 優里	斎木 桜花	山縣 彩乃
-------	-------	-------	-------	-------	-------

〈アルト〉

(一般)

浦川 律子	岡崎 楸	岡田美知子	高下 裕子	河内 佳織	小林 文枝
酒井 京香	佐々木智恵子	下岡 弘恵	反田 良子	鄭 澄恵	土門華奈子
中川 美佑	中野真理子	旗手 圭子	濱岡由希子	引地 葉子	藤井 裕子
古川絵里加	升島 圭美	松浦 史歩	松田亜希子	宗岡 亜弥	安田 彩音
山崎 綾子	山崎 恭子	山田 桃	山野井真美	八田 美咲	

(大学クワイヤ)

井内 花音	萩山 真白	加納 翠	佐藤 風沙	前田 麗奈	増谷 帆香
-------	-------	------	-------	-------	-------

(高校音楽部)

春山 姫果	福田 晴日	森 悠菜	上野 凉佳	児玉和華奈	河野 理子
-------	-------	------	-------	-------	-------

〈テノール〉

(一般)

奥田 良彦	小田 義幸	川越 三正	管野 泰久	世良 正則	福原 泰弘
山岡 順三	萬 博義	和田 靖幸	渡部 新		

〈バス〉

(一般)

岡崎 健	クライン・ロナルド	佐々木 明	野口 陸秋	一 大輔
福岡 奏次	星野 羊一	松本 隆史	マンガム・マシュー	宮城 信幸



広島女学院メサイアオーケストラ

広島女学院高等学校オーケストラグループ
広島女学院高校生
広島女学院OG
有志の皆様

〈1stヴァイオリン〉 ※…コンサートミストレス

(一般)

星野いずみ※ 浮田 恵美 河野 美香 小谷 愛子 白石 恵史 白坂 幸子

竹田 理恵

(高校生)

出雲 歩花 島 一実 清藤 可蓮

〈2ndヴァイオリン〉

(一般)

宮本 尚代 管野佳代子 高田 裕 竹田 恭子 一 優子 原辺 芽依

(高校生)

中川 愛七 野津 梨那 新谷明歌音

(高校生有志)

榊田 朱莉

〈ヴィオラ〉

(一般)

吉本 千恵 今井ヨシエ 大林 千英 桑原 牧子 森川佳奈子

(高校生)

荒巻 美佳 中谷 江麻 白須 七生 森吉なるみ

〈チェロ〉

(一般)

阿曾沼裕司 大心池摩耶 庄司侑里子 永山 恭子 難波 恒久

(高校生)

太田かのん 千野 史織 三苦 柚風

〈コントラバス〉

(一般)

渡邊 美穂 田中 由加 江角 朋美 種佐美穂子

〈トランペット〉

(一般)

内藤 義則 中原 泰尚

〈オルガン〉

(一般)

玉理 照子

〈オーボエ〉

(一般)

齊藤 陽子 山口 里美

〈チェンバロ〉

(一般)

福原 之織

〈ファゴット〉

(一般)

大庭 史善

〈ティンパニ〉

(一般)

松田亜希子

メサイア演奏会委員会

委員長 (院長・学長)	三 谷 高 康
委 員 (校長)	渡 辺 信 一
” (園長)	高 田 憲 治
” (事務局長)	海 田 智 浩
” (管理部長)	蒲 原 靖 男

メサイア運営担当

法人事務局	榎 良 平 中 塚 成 美
中高事務長	石 田 直 子
高校音楽部顧問	長谷川 史
大学クワイヤ	阿 部 菜 摘
大学アンサンブル・ エスポワール	石 岡 莉 沙
アナウンサー	須 澤 麻 衣 白 木 陽 和 子
ステージマネジャー	砂 流 克 広
字幕操作	中 本 有 希 子
チラシデザイン	三 榭 正 典

2019年12月メサイア席上献金総額は 469,126円 でした。
次の箇所に全額送らせていただきました。

【献金先】

- ・ワールド・ビジョン・ジャパン
- ・広島YWCA
- ・西中国キリスト教社会事業団「広島キリスト教社会館」
- ・西中国キリスト教社会事業団「特別養護老人ホーム清鈴園」
- ・もみじ作業所
- ・広島いのちの電話
- ・つくしんぼ作業所
- ・光の子どもの家

ありがとうございました。

創立136年

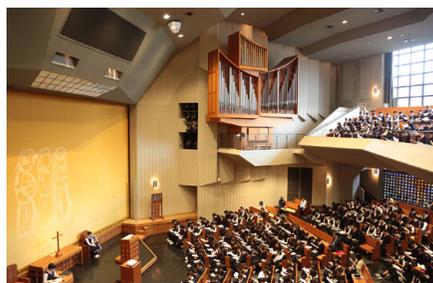
CUM DEO LABORAMUS

～我らは神と共に働く者なり～



広島女学院大学

〒732-0063 広島市東区牛田東4-13-1
PHONE (082)228-0386 FAX (082)227-4502
<https://www.hju.ac.jp/>



広島女学院中学高等学校

〒730-0014 広島市中区上幟町11-32
PHONE (082)228-4131 FAX (082)227-5376
<https://www.hjs.ed.jp/>



広島女学院ゲーンズ幼稚園

〒732-0063 広島市東区牛田東4-13-1
PHONE (082)228-6635 FAX (082)224-3141
<https://www.hju.ac.jp/~gensuyo/>

創立1886年(明治19年)

学校法人 **広島女学院**

〒732-0063 広島市東区牛田東4-13-1
PHONE (082) 228-0386
F A X (082) 227-4502